

平成 31 年度文化創造関連事業実施計画

文化創造課の新規事業として「ユニークベニューTAKAOKA プロジェクト」に着手する。また、アート&クラフトシティ高岡推進委員会と連携して実施するアート&クラフトシティ高岡を表現した事業（クラフト市場街など）についても、まちなかへの若い世代の継続的な関わりを生み、にぎわい創出や関係人口の増加につながるよう新しい展開を図る。

1 アート&クラフトシティ高岡を表現した事業の実施

(1) 工芸都市高岡の秋 2019（知る・創る・つなげる・伝える）

9月20日（金）～23日（月・祝）を会期として、「高岡クラフト市場街」「工芸都市高岡クラフト展」「ミラレ金屋町」の3つのイベントを同時開催予定。文化創造課の予算事業である「高岡クラフト市場街」においては、風情ある「町並み」や「食」を楽しみながら、質の高い「クラフト」に出会うことができるイベントを展開するとともに、「大人と子供に向けた T-school（仮称）」として、高岡以外の地域でもものづくりに関わる方を招いた講座やワークショップを開催する、イベント期間だけでなく継続的に、クラフト市場街の関係者が山町筋に滞在できる交流拠点を作るなどの、新しい展開を検討している。幅広い世代を対象とした創造の場づくりを目指す。

(2) 文化創造都市高岡市民会議（知る・創る・つなげる・伝える）

アート&クラフトシティ高岡推進委員会と協議し、幅広い世代に、本市の歴史・文化の魅力を知ってもらえる機会をつくる。（今後 A&C 推進委員会にて協議）

2 文化創造都市高岡ウェブサイトの運営（知る・伝える）

ウェブサイト「文化創造都市高岡」の内容を発展させ、記事を掲載する。高岡市 FBでのシェアなど PV 数向上の工夫を継続する。

3 ユニークベニューTAKAOKA プロジェクト（知る・創る・つなげる）

まちなかの施設やパブリックスペースなどを活用して、市民が芸術文化に親しむ機会やアーティストが活動する場、また市民とアーティストが交流する場をつくる。

4 万葉のふるさとづくり関連事業

・高校生万葉短歌バトル（知る・創る）

8月23日（金）／生涯学習センター

5 日本遺産をはじめとする歴史・文化資産を活用した魅力発信関連事業

(1) 日本遺産推進協議会への補助（知る・創る・つなげる・伝える）

全国の日本遺産と連携した PR と、関係機関への働きかけを継続する。さらに市民一人ひとりに日本遺産認定された本市の歴史に誇りを持っていただけるよう、周知に取り組んでいく。

(2) 北前船日本遺産推進協議会への参加

平成 30 年に追加認定を受けた「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間（北前船寄港地・船主集落）」について、加盟自治体で組織する北前船日本遺産推進協議会と連携し、ストーリーの周知や商品造成に取り組む。

6 藤子・F・不二雄氏の顕彰にかかる関連事業

(1) アトラクティブ高岡推進事業（知る・つなげる・伝える）

ドラえもんトラム、電停、ポストなどの継続実施。パンフレットの制作など。

(2) 高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーの運営（知る・伝える）

7 beyond2020 認証取得の支援（知る・伝える）

日本文化の魅力を発信するとともに、障害者にとってのバリアを取り除く取り組みや、外国人にとっての言語の壁を取り除く取り組みに対する認証の取得を支援する。

8 高岡市民文化振興事業団への委託・補助による文化振興事業（知る・創る・つなげる）

地域の芸術文化の振興を図るため、市民文化振興事業団と連携し、市民文化の普及向上に関する文化振興事業に取り組む。

<特徴的な事業>

- ・高岡市芸術祭
- ・10歳のファーストコンサート、劇団四季「こころの劇場」
- ・音楽文化のまちづくり事業（オーケストラ公演、風と緑の楽都音楽祭等）
- ・高岡文化ストック⇒クラウド事業（第一線で活躍するアーティスト等を講師としたワークショップやクリニック）
- ・市民文化創造活動活性化事業（「パープル」とのサロンコンサート、ピアノ演奏体験など）

<指定管理委託している文化施設>

(1) 高岡市万葉歴史館

春・秋 特別展

万葉関連資料の収集、調査・研究 ほか

(2) 高岡市美術館

高岡市民美術展

明治金工の威風—高岡の名品、同時代の名工（仮称）

クリエイティブたかおか

GEIBUN 11（富山大学芸術文化学部大学院芸術文化学研究科卒業・修了研究制作展）

開館 25 周年記念コレクション展ほか

(3) 高岡市立博物館

特別展、常設展、館蔵品展ほか

(4) ミュゼふくおかカメラ館

コレクション展

企画写真展（関由香展、山田利郎展）ほか